

RRS 42 – ガイド – 470

2022 年 3 月

はじめに

この文書は、審判と競技者のためのガイドとして位置づけられている。RRS 42 の公式解釈は World Sailing RRS 42 Interpretations に掲載されており、このガイドではこれらを参照している。

原則：

審判は疑わしい場合には競技者に有利な判断を下すが、競技者が RRS 42 に違反していると確信した場合は、規則を遵守している競技者を保護するために行動する。

470 クラス規則（RRS 42 に適用されるもの）

C 節 – レースでの条件 – (2022 年 2 月 1 日発効)

C.1.1 規則

(a) 次の RRS の規則を下記に修正して適用するものとする；

- (1) コース全域で明らかに平均風速が 10 ノットを超える場合、レース委員会は RRS 付則 P5 に従い、パンピング、ロック、ウーチングを許可する信号を発することができる。これは、RRS 42.2(a)、RRS 42.2(b)、RRS 42.2(c) を変更している。

クラス特有のテクニックと違反行為：

風速 10 ノット未満では、トップクラスの競技者は力を入れない動きをする。スムーズな操船の方がセール内の空気の流れを保つのに効果的だからである。風速 10 ノット以上で O 旗が掲揚されている場合、競技者は準備信号からアップウインドとダウンウインドの両方でパンプ、ロック、ウーチを行うことができる。

RRS 42.2(d)のスカリング禁止は O 旗掲揚時も引き続き適用され、RRS 42.2(e)の風向変化や戦術的考慮に関係のないタックやジャイブの繰り返し禁止も O 旗掲揚時に適用される。競技者にとって最大の問題は、風速が 10 ノットを超えているにもかかわらず O 旗が掲揚されていないときに発生する。競技者は無意識のうちに、以下に挙げる禁止行為のいくつかを実行し始める。

スタート

ロッキング

スタート時のロールは、艇を明らかに推進させてはならない。

許可される動作：

- 艇を明らかに推進させないロール 1 回。

禁止される動作：

- 艇を明らかに推進させるロール 1 回 – RRS 42.1- BASIC 4
- 艇のロールの繰り返し – RRS 42.2(b)(1)

証拠収集：

- 競技者は艇のロールを引き起こしているか？
- 1 回のロールで艇が明らかに推進されているか？
- ロールは（複数回）繰り返されているか？

スカリング

スカリングは、特にスタートラインで他の艇の間に挟まれた場合に、風が弱いときに起こりやすい傾向がある。

許可される行動：

- たとえ力強くでも、艇がクロースホールド・コースより上にあり、明らかにクロースホールド・コースに方向転換しているときのスカリング – RRS 42.3(d)、SCULL 1
- 速度を落とすために繰り返し舵を操作すること — RRS 42.3(f)

禁止される行動：

- 艇がすぐに風位に戻ろうとするのを止めるため、または他の艇の風下へ潜り込むための、クロースホールド・コースより風下へのスカリング
- 両側への力強いスカリング — SCULL 2

証拠収集：

- ティラー操作は力強いのか？
- 艇を前進させているか、それとも後進を妨げているか？
- 艇は風上コースを航行しており、明らかに風下コースへ進路変更しているか？
- このスカリングは以前のスカリングを相殺しているか？

アップウインド

ボディ・パンピング

通常、スタートラインから外れたところまたは風上へ向かうビートで、7～10 ノット、または O 旗が掲揚されていない 10 ノット以上の風速のときに見られ、主にトラピーズ上のクルーによるボディ・パンピングを指す。

許可される動作：

- ・ 波と同調して艇のトリムを調整するために体を前後する動作 – OUCH 1

禁止される動作：

- ・ トラピーズ上のクルーの脚を曲げたり、上半身を過度にねじったりすることで、リーチに繰り返しフリックを引き起こすボディ・パンピング – PUMP 6

証拠収集：

- ・ 波はあるか？
- ・ 競技者の体の動きは波と同調しているか？
- ・ 競技者の体の動きがリーチのフリックを引き起こしているか？
- ・ 競技者の体の動きとフリックを関連付けることができるか？
- ・ フリックは繰り返しているか？
- ・ リーチのフリックは波の影響か？
- ・ 他の艇と比べてどう見えるか？

シート・パンピング

6～10 ノットの風速では、ヘルムスはメイン・セールを風のシフト、ガスト、波に合わせずにリズムカルにシート・パンピングする傾向がある。

許可されている動作：

- ・ 風のシフト、ガスト、波に合わせてセールを出し入れする – PUMP 2

禁止されている動作：

- ・ 風のシフト、ガスト、波に応じずにメイン・セールを引き込み、解放する – PUMP 1

証拠収集：

- ・ トリムとリリースは、風のシフト、ガスト、波に応じているか？
- ・ トリムとリリースの繰り返しは、セールを煽っているか？

ロール・タック

過度なロール・タックは、特に微風時に発生することがある。競技者はタック中に体を力強く動かし、乗員がシュラウドにぶら下がることで、タック中のロール・タックを強調する。

許可される動作：

- ・ タック中の操船を容易にし、タックから抜け出す際に艇のローリングを誇張する動作 – ROCK 8

禁止される動作：

- タック中のローリングを誇張する動作で、タック完了直後に艇のスピードが増すこと。
RRS 42.1

証拠収集：

- 個々のタックは艇のスピードを増しているか？
- 競技者の体の動きがスピード増を引き起こしているか？
- タック後のスピード増の後に、突然かつ顕著なスピード減が起こるか？

ダウンウインド

パンピング

スピネーカーをダウンウインドおよびリーチでパンピングすることは、470 クラスで頻繁に発生する違反行為の一つである。競技者はトリム操作によって正当化しようとする。

許可される行為：

- 現状に合わせて艇をトリムするためにセールをトリムする行為 – PUMP 2
- サーフィングまたはプレーニングを開始するために、波またはガストごとに 1 回、片方のセール、または両方のセールを同時に、パンピングする行為。ただし、サーフィングとみなされるには、艇が波の前面で急速に加速する必要がある – RRS 42.3(c)
- バテンが反転している場合、艇の乗組員はバテンの反転が解消されるまでセールをパンピングできる。ただし、この行為によって艇が明らかに推進力を得られないことが条件である。 – RRS 42.3(e)

禁止行為：

- セールを煽るためのトリム – RRS 42.2(a) PUMP 1
- スピネーカーがつぶれたことを原因とするトリムである様に正当化しようとするようなスピネーカーのパンピングや繰り返しリズムカルな仕方で過度にスピネーカーをトリムすること – PUMP 1
- 微風下で、サーフィングまたはプレーニングを開始することなく、スピネーカーを艇体から離し、その後力強く引き戻す行為を繰り返し行う – PUMP 1
- 既にサーフィングまたはプレーニング状態にあるセールのパンピング – PUMP 12
- サーフィングまたはプレーニングを開始するために、ヘルムスがメインセールを 1 回パンピングし、その後、既にプレーニングまたはサーフィング状態にあるスピネーカーをパンピングする。

証拠収集：

- サーフィングまたはプレーニング状態にあるか？
- 波またはガストごとに 1 回のパンピングでサーフィングまたはプレーニングを開始

するか？

- サーフィングまたはプレーニング中に艇がパンピングしているか？
- トリムとリリースは、風のシフト、ガスト、波への対応策か？
- トリムとリリースの繰り返しで、セールを煽っていないか？

ロッキング

470 クラスにおけるロッキングは通常、規則的なパターンで発生し、艇の反対側に座っているヘルムスとクルーの両方が繰り返し体を動かすことを指す。

許可される行動：

- 艇の安定性が低下した際に、乗組員が静止した姿勢をとること – ROCK 4

禁止される行動：

- ヘルムスとクルーが艇の反対側に座り、ローリングを誘発するか、またはバックグラウンド・ローリングを強調することで生じるローリング – RRS 42.2(b)(1)

証拠収集：

- 安定性が低下した際に、競技者は艇の適切なトリムを回復しているか？
- 競技者は艇のローリングを引き起こしているか？
- ローリングは繰り返し発生しているか？

競技者への助言

質問しなさい。

技術について不明な点がある場合は、他の競技者もその回答を活用できるよう、書面で説明を求めなさい。

黄色旗ペナルティを受けた場合は、審判に何ができて何ができないのか説明を求めなさい。イベントの重要度が高いほど、競技者に対する審判の比率が高くなるため、本当に重要な場面であなたのセーリング技術が厳しく審査されることを覚えておきなさい。